

SSTG1 Pro リリースのお知らせ

株式会社カンバスは、SSTG1の後継機種として、この度「SSTG1 Pro」をリリースしました。

<SSTG1Proの特長>

1. 従来のSSTG1に加え、制作会社様向けに様々な新機能を搭載しています。

従来のSSTG1に搭載されているオプションに加え、下記の新機能が搭載されています。

- ① ワーク用の映像ファイル形式に mov(h.264、AAC),MP4 (h.264)等を追加。

Windowsのコーデックに依存しない新映像再生機構を実装しました。

- ② 逆再生時の音声を、テープを巻き戻す感覚で連続再生できるようになりました。

- ③ SSTG1の旧再生機構も搭載しているため、MPEG1で作業する際は、SSTG1+新映像再生機構以外の新機能でご利用いただくことも可能であり、安心してお乗換えいただけます。

- ④ ピッチ調整機能 SSTに搭載されていたピッチ調整機能を復活させました。

- ⑤ 多重起動 基本的に全てのwindowで映像が開きます(新再生機構の場合)。

- ⑥ デザインの24bit化及び多重起動時のwindow枠のカラー化

- ⑦ フォルダ内.sdb検索機能

<https://www.youtube.com/watch?v=84s2H4gY34Y>

特定のフォルダ内の.sdbファイルの原文、もしくは字幕欄を検索できるようになります。
順次検索対象は追加される予定です。

- ⑧ 検索属性指定機能(高等編集機能オプションがついている場合のみ)

<https://www.youtube.com/watch?v=246LKPMtjcI>

ルビやフォント、傍点、カーニングなどを一括して付与・変更することができます。
また、縦字幕を除外することも可能です。

- ⑨ 検索機能の強化

ABトラック同時検索及びコメント内検索を実現しました。

- ⑩ NETFLIX チェック機能の追加(NETFLIX社に納品する字幕データの仕様となっているかチェック可能となりました。)

<https://www.youtube.com/watch?v=UpEjn6t9Z3E>

※動画は新有償エクスポートオプション「Netflix Cap」の解説です。本機能はこのうちのチェック部分(0:33~1:20)のみとなります。

- ⑪ ittエクスポート機能(ver.1)の追加

- ⑫ SMPTE規格(デジタルシネマ用)のエクスポート機能(有償)の追加

※①~⑩の機能はNetSSTG1にも搭載されています。

※SSTG1シリーズの機能比較は本お知らせの末尾をご覧ください。

2. SSTG1Pro の今後のアップデート予定

年内に業務効率改善・操作性向上のためのアップデートを複数回実施致します。

第一回目のアップデートは 2015 年 9 月を予定しています。

また、.srt のインポートオプション(有償)や縦書きが可能な .itt のエクスポートオプション(有償)もリリース予定です。

3. SSTG1Pro 発売キャンペーン

当初、キャンペーン価格 (SSTG1 と同額) で販売します。

4. 既に SSTG1・NetSSTG1 をご購入の方は、お乗換えが可能です。

SSTG1・NetSSTG1 からの乗換が可能であり、乗換価格が適用されます。

詳細は 5 ページをご覧ください。

5. 年間保守加入が必須であり、常に最新のアップデートが提供されます。

年間保守費： 34,800 円 (税抜) / 年

※SSTG1Pro の複数購入、SSTG1 からのお乗換えの場合は割引が適用されます。詳細は 5 ページをご覧ください。

6. 販売中の SSTG1 シリーズで唯一、データコンバート機能を追加オプションで搭載できます。

搭載できるオプションの詳細は<SSTG1 シリーズ機能比較>をご覧ください。

7. ソフト初回起動時、及び1年に1度インターネット上でのライセンス認証が必要となる場合があります。

原則として 1 年に 1 度インターネット認証が必要になりますが、複数台保持している場合など、認証不要となる場合もございます。

<推奨 PC スペック：新再生モード>

OS	Windows7/8/8.1 (日本語/英語)	HDD 空き容量	10G 以上
Display	解像度 1366×768 以上	メモリ	4G 以上
CPU	Intel Core i5 以上		

<推奨 PC スペック：SSTG1 モード：映像ファイルは MPEG1 のみ>

OS	Windows7/8/8.1 (日本語/英語)	HDD 空き容量	2G 以上
Display	解像度 1024×768 以上	メモリ	2G 以上
CPU	Core 2 Duo 以上		

※SSTG1 と同等の推奨 PC スペックとなります。この場合、TV チューナー付の PC は避けてください。

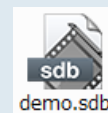
<SSTG1Proご利用時の留意点>

- ① 新再生機構でスクイーズの映像を通常再生する際、セーフティラインがフラッシングすることがあります。本障害につきましては次々回アップデート時（9月予定）に修正予定です。
- ② 新再生機構利用時、キー操作のスピードによっては、再生への遷移、2倍速再生への遷移、逆再生への遷移、2倍速逆再生への遷移の際に、波形上の赤カーソルが止まることがあります。その際は再度、当該操作キーの入力を行ってください。この仕様につきましては、今後設計変更による改善を予定しています。
- ③ MOVの音声コーデックの動作保証は現状AACのみとなります。
- ④ MP4の映像はプロファイルが多岐に渡るため、一部の映像は利用できない場合があります。
- ⑤ プレビュー画面における字幕の位置を、より完パケでの字幕の位置に近づける調整を入れたため、今までのSSTG1（映像再生のDirectShowモード）と比べて字幕位置に関し1ピクセル程度下へのズレを感じる可能性があります（映像が1ピクセル程度上に上がる感覚）。
- ⑥ 今まで23.976fpsのwmvファイルで編集する場合、タイムコードの基本設定で「24Fr」をご選択いただいておりますが、SSTG1Proより「24P」を選択していただければ自動的に23.976fpsか24pかを判断するよういたしました。これは今回新たに加わった映像形式(mov等)でも同様の設定となります。
- ⑦ 23.976fpsのwmvファイルを利用して、SSTG1にて「24Fr」の設定で編集したsdbファイルについては、SSTG1Proで開いた際に、「このsdbファイルはSSTG1において、24Frで編集されています。SSTG1Proにおいては、24Pにフレームタイプ変換をして編集してください」というメッセージが出ます。その場合、フレームタイプを「24Fr」から「24P」へと変換してください。
逆に、SSTG1Proで作成した23.976fpsのプロジェクトをSSTG1で編集する場合、フレームタイプを、「24P」から「24Fr」に変更する必要があります。外注の場合など、SSTG1ユーザーにsdbを渡す際には、[ファイル]－[SSTG1用に24Frで保存]を選択し、24Frに変換してから渡すようご注意ください。
- ⑧ 今回sdbファイルやアプリケーションのファイルアイコンを変更していますが、自動で変更されない場合があります。

<旧SSTG1のsdbファイルアイコン>



<SSTG1Proのsdbファイルアイコン>



SSTG1Proとひも付けを行いたい場合は、sdbファイルを右クリック→[プログラムから開く]→[既定のプログラムの選択]にて、「SSTG1Pro」を選択してください。

- ⑨ SSTG1と同様のレンダリング機能(mov対応無し)は付属しておりますが、サポート対象外となります。
- ⑩ 音声のサンプリングレートを上げることにより、音圧を細かく表現でき、波形データにより正確性を持たせることができるようになりました。その分、波形データ(wavファイル)のサイズが以前のG1と比較して10倍ほどのサイズとなっております。ストレージのあまりないPCで作業をされる場合には、波形データを定期的に削除することをおすすめいたします。
- ⑪ キャプチャーボードでテープメディアよりキャプチャーした映像に関して、フレームの整合性のとれ

ない映像ファイルが作成される可能性があります。そのような映像の場合、ソフト内で処理を加えるため、波形ウィンドウ上の映像再生の動作が若干鈍くなる可能性があります。

- ⑫ DVD Sonic ファイルのエクスポートにおいて、SSTG1 の配色設定を引き継ぐ場合には、下記のファイルを<コピー元>からコピーし、<コピー先>へ配置してください。コピー元は隠しフォルダ（※）のため、ディレクトリを直接指定して開くか、Windows キー+R で「ファイル名を指定して実行」を開き名前にコピー元のディレクトリを入力して実行してください。

ファイル : PorterColor.ini

コピー元 : C:\Users\<ユーザ名>\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86) \SST G1

コピー先 : C:\Users\<ユーザ名> \Documents\SST G1 Pro

※隠しフォルダは[コントロールパネル]-[フォルダーオプション]から表示することが可能です。

- ⑬ 新再生機構において、DV コーデックの .avi ファイルや wmv を利用することも可能ですが、現状、1～2フレーム、映像に対して音声が遅れる不具合が発生しているため、現時点では AVI 対応、wmv 対応を謳っておりません。本件については現在修正作業を実施中で、mov と同じく対応を謳う予定となっております。
- ⑭ 画角が 720×480(SD)で作成された映像の場合、画面スケールを「101%～109%」で設定すると、映像と字幕がズれる不具合が発生しております。「画面にフィット」ボタンを押した際にもこの数値になってしまうと、発生します。
- ⑮ SSTG1 モード（映像再生の DirectShow モード）でご利用いただける映像フォーマットは、MPEG1、WMV のみです。

<インストール可能台数>

認証版 SSTG1Pro の場合：10 台

認証不要版 SSTG1Pro の場合：無制限

<お申し込み方法>

- ・CANVASS ホームページから：http://canvass.co.jp/solution/products/sst_g1/index.html
- ・メールから：sales@canvass.co.jp
- ・お電話から：TEL 03-3668-8161（平日 9:30～18:30）

<購入価格> (税別)

製品名	キャンペーン価格	発売日
SSTG1Pro	280,000円	2015年6月

<SSTG1からの乗換価格> (税別)

2014年7月末時点で全台保守加入有		
保有台数	割引率	Pro.ver.UP費用
1台	1	¥99,800
2～4台	0.9	¥89,820
5～9台	0.85	¥84,830
10台以上	0.8	¥79,840
2014年7月末時点で保守加入無しが1台以上ある場合		
2014年7月末時点で保守加入しているG1		
Ver.UP台数	割引率	Pro.ver.UP費用
1台	1	¥99,800
2～4台	0.95	¥94,810
5～9台	0.925	¥92,315
10台以上	0.9	¥89,820
2014年7月末時点で保守加入していないG1		
Ver.UP台数	割引率	Pro.ver.UP費用
1台	1	¥129,800
2～4台	0.95	¥123,310
5～9台	0.925	¥120,065
10台以上	0.9	¥116,820

※全台保守加入の場合、1台のみのVer.UPでも2014年7月時点のG1保有台数に応じて割引が適用されます。

<年間保守費> (税別)

2014年7月末時点で全台保守加入有		
G1・Pro保有台数	割引率	年間保守費
1台	0.9	¥31,320
2～4台	0.825	¥28,710
5～9台	0.8	¥27,840
10台以上	0.68	¥23,664
SSTG1Proを新規購入 or 2014年7月末時点で保守加入無しが1台以上ある場合		
Pro保有台数	割引率	年間保守費
1～2台	1	¥34,800
3～4台	0.95	¥33,060
5～9台	0.925	¥32,190
10台以上	0.9	¥31,320

※初年度無料

※全台保守加入の場合、G1とProの合計保有台数に応じて割引が適用されます。

※海外のユーザー様は、上記とは異なります。別途お問い合わせください。

<SSTG1 シリーズ機能比較>

SSTG1 シリーズ 機能比較表 (2015年8月現在)

			SSTG1	SSTG1 Lite	NetSSTG1	SSTG1Pro	
ドングルの有無			○	○	○	○	
Net認証機能			×	△	○	△	
基本機能	編集機能	字幕テキストの入力削除	○	○	○	○	
		スポッティング機能	○	○	○	○	
		連続逆再生機能	×	×	○	○	
		Bトラック	○	○	○	○	
		字幕番号の振り直し	○	○	○	○	
		文字のエフェクト (ルビ・イタリック・傍点・組文字)	○	○	○	○	
		表示位置・行配置の設定	○	○	○	○	
		多重起動	×	×	○	○	
		検索機能の強化(A Bトラック同時検索、コメント検索)	×	×	○	○	
		フォルダ内.sdb検索	×	×	○	○	
		ピッチ調整	×	×	○	○	
		レンダリング機能 (サポート対象外)	△	×	△	△	
		Netflix用データチェック	×	×	○	○	
		import	見直し用リスト (Excel)	○	○	○	○
			台本 (txt)	○	○	○	○
	SSTファイル (sdbファイル統合用)		○	○	○	○	
	export	プロジェクトファイルの保存 (sdb)	○	○	○	○	
		見直し用リスト (Excel)	○	○	○	○	
		見直し用リスト (txt)	○	○	○	○	
		CASTファイル	○	△	×	○	
		SRTファイル	○	×	○	○	
		放送用字幕制作ソフト用NABファイル	×	×	○	×	
		Adobe Encoreフォーマット	○	×	○	○	
		Apple DVD Studio Proフォーマット	○	×	○	○	
		Avid Sub Capフォーマット	○	×	○	○	
		Blu-ray CANVASs Sirius Bluフォーマット	○	×	×	○	
	ittファイル (iTunes用字幕ファイル)	×	×	×	○		
	映像フォーマット	MPEG1	○	○	○	○	
WMV		△	△	×	×		
MOV(h.264)		×	×	○	○		
MP4(h.264)		×	×	○	○		
avi(DV)		×	×	×	×		
ビューワー	SSTG1 Viewer(DirectShow版) の無償提供 (サポート対象外,mov再生不可)	○	○	○	○		
有料オプション	高等編集機能	フォントエッジの種類サイズカラーの設定	○	○	○ (無償)	○	
		カーニングレディングの調整	○	○	○ (無償)	○	
		検索属性指定	×	×	○ (無償)	○	
		文字の自由位置	○	○	○ (無償)	○	
		フェードインフェードアウト	○	○	○ (無償)	○	
		マスク	○	○	○ (無償)	○	
		映像フォーマット	MPEG2	×	×	×	△ (近々)
	import		ビデオトン・ラムダファイル	○	×	×	○
		スクリーンサブタイトルリングファイル	○	×	×	○	
		EBUファイルのインポート	○	×	×	○	
		CASTファイルのインポート	○	×	×	○	
		SRTファイル	×	×	×	△ (近々)	
	export	EBUファイル	○	×	×	○	
		ビデオトンラムダファイル	○	×	×	○	
		Netflix Cap	○	×	×	○	
		スクリーンサブタイトルリングファイル	○	×	×	○	
		DVD SONIC (シナリスト) フォーマット	○	×	×	○	
		DVD パナソニックフォーマット	○	×	×	○	
		Blu-ray SONIC (シナリスト) フォーマット	○	×	×	○	
		Blu-ray パナソニックフォーマット	○	×	×	○	
		DV2000フォーマット	○	×	×	○	
		CANVASs Open Subtitle file format (EDIUS6等)	○	×	×	○	
		AAFエクスポート (Premiere Pro2.0 / Final Cut Pro)	○	×	×	○	
		↳ EDIUS6、6.5、7用オプション	○	×	×	○	
		DLPデジタルシネマ用XMLファイル (TI)	○	×	×	○	
	デジタルシネマ用XMLファイル(SMPTE)	×	×	×	○		
	ittファイル (縦字幕対応)	×	×	×	△ (近々)		
	独自機能 (有償)	SSTC1	放送用字幕制作ソフト用データ作成ツール	×	×	○ (予定)	×
アップデート		基本機能	終了	有償	月額課金の範囲内	保守	

※mdb ファイルは廃止されました。